平成27年	F度事務事業評	呼価シート	該当事業 一般事務			「情報のみ記載) ┃ 評価対象外事業
事務	8事業名	環境保全型	農業直接支援事			•
予:	算科目	6 款	1項 3目			
総合計画	での位置付け	産業の振興 農業の振興	~もりもり元気な 	<b>ぶしごとづくり~</b>		
	京課情報	担当課:	ブランド推進課			706
記入	者情報	所属長:	向井 裕臣	担当責任	者: 柞	公原 幸男
事業	美の性格 おんしゅん	内部管理事	務			
	施期間	【開始年度】	平成 23 年度		定なし	
事業	美の対象 おおり こうしん こうしん こうしん しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん しんしん し		域に存する農地	き有する農業者		
根拠法令等	環境保全型農業直接	支援事業交付釒	<b>全交付要綱</b>			
事業の目的	地球温暖化の防止や安付する。	生物多様性の例	<b>杲全等を図る目的で</b>	、環境保全型農業に	取組む農	業者に対し補助金を
事業の内容	化学肥料や化学合成	豊薬を使用しな	い有機農業に取組す	ご農業者に対しての	直接支援	
改善策の 具体的 取り組み (当初)						
改善策の 具体的 取り組み						

		事業費	投び財源内訳		
J	頁 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
	直接事業費	295	865	0	834
事業費	人件費	795	804	402	804
	合計	0	1,669	402	1,638
	人工数	0.10	0.10	0.05	0.10
人件費	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	795	804	402	804
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	148	648	0	625
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	942	1,021	402	1,013

	事業活	動の実績(活動	助指標)		
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
環境保全型農業実施面積	а	639.94	1043	0	1043

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
午庄	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
年度	350	380	410	440	0	1,580

		成果指標		
成果指標	当該年度の環境保全型農	業実施面積/前年度の環境	保全型農業実施面積×100	
	環境保全型農業を実施して 業効果を測る。	いる農地面積を昨年度の実	<b>E施農地面積と比較すること</b>	で、環境保全に寄与する事
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	1.043	1.63	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	4	
自己評価		事業の効果	4	В
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	3	
(担当負任日)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	4	7

地球温暖化防止、生物多様保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業団体等への支援であり、今年度は有機農業を行う個人の取り組みが、2つの団体へ拡大したこともあり、対象面積が大幅に増加し、事業の効果が上がっていると思われ、今後も継続する必要がある。

## 課題認識

		一次評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	4	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	3	В
(別為文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	4	7
	LILTE YOURS ALDE ALL IN ALL	たり 世界 ログロ サログラン 大松 典 米 の 取 4 、 の 大 校 3	-+ U F	ᆂᆛᆛᄊᆉᆔ

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い有機農業の取組への支援であり、年々面積は増加し効果は上がっている。本年度から、対象者が個人からグループへ変更になったことから参加者も増え、引き続き同事業の普及・啓発に努めるのみである。なお、今後必要に応じ、質の向上を図る個別取組みを検討する必要がある。

## 課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	